

檀信徒各位

ぎよきほうよう
御忌法要のご案内

聖 名 新年明けましておめでとうございます。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、例年 1 月の「御忌法要」を迎えることになりました。

日本のお念仏の元祖、浄土宗開祖（法然上人）の祥月命日に
あたる 1 月 25 日の法要です。今回は 800 年の大遠忌です。

浄土宗久留米門中寺院ご出仕のもとに、下記の通り勤めます。
ご多忙の折柄、恐縮乍ら、何卒万障お繰り合わせご参詣下さい
ますよう、ご案内申し上げます。 合 掌

平成 23 年 1 月上浣

無量寺 住職 堤 俊翁 拜

記

※期 日 平成 23 年 1 月 25 日（火）

※時 間 午後 1 時より 御 回 向（普通回向）
午後 2 時より いのちの大切さを伝える
法話と音楽と朗読の会 2 ページに詳細

※布教師 山上 光俊師、いのちがたりの会

※ご回向料

普通回向 1 霊 1,000 円以上

法然上人 800 年大遠忌特別回向 2,000 円以上

（お志しをお持ちの方は別紙回向位牌型にて御志納下さい。）

※お供え米、お供え米料 随意ご志納下さい。

毎日の本尊様のお供え、お花代等にさせていただきます。

※郵便振替等で申し込まれる方も位牌型をお送り下さい。

年間の法要では位牌型にお戒名等を書いて読み上げご回向をしておりますが、書き方が良く分からない方もおられるようなので、説明致します。

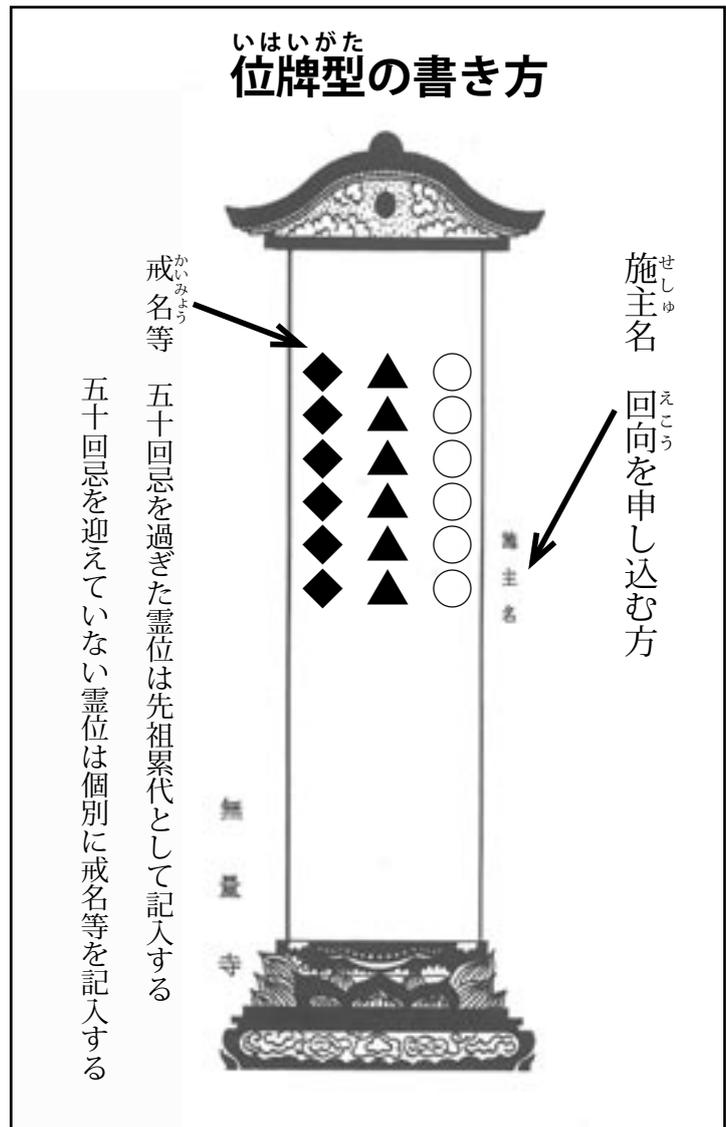
ご記入方法は右に示しているようにお願いします。

お家の仏壇からその法要で回向したい霊位のお戒名を書き写して下さい。

お戒名を覚えるためにも、是非ご自身で書いて下さい。

上手に書く必要はありませんが、わかりやすく丁寧に心を込めて写しとって下さい。

△位牌型の書き方について▽



《いのちがたりの会》による

いのちの大切さを伝えるライブイベント

★いのちがたりの歌

オリジナル楽曲 (作詩アレンジ・作曲・歌 ナオミ)

癒しの宮崎古代声明とフルートの調べジョイントセッション

歌：NAOMI (ナオミ) フルート：甲斐いずみ

と き：1月25日午後2時より

ところ：無量寺 1階講堂にて

★子牛のモーちゃん和小豚のピーちゃんの涙

宮崎口蹄疫で殺処分された牛と豚を題材にした、いのちの大切さ優しさを伝える物語りの朗読

物語著者：山上上人 朗読：吉井美穂 & MEGUKICHI (青木恵)

★手折し花の (=たおりしはなの)

オリジナル楽曲 (作詩・作曲・歌 ナオミ)

歌：NAOMI (ナオミ) フルート：甲斐いずみ



◎山上上人 ご法話

中	佐	大	田	高	笠	笠	山	占	笠	西	笠	田	内	岩	仲	坂	庄	友	中
原	藤	塚	中	橋	井	井	崎	部	村	井	井	中	田	橋	山	井	山	野	島
			由	久	イ	登		三	功	熊	昭	ヨ	金	卓	芙	正	政	政	重
	ト	岩	ノ	紀	ノ	美		次	彦	和	シ	助	摩	子	美	雄	利	吉	忠
	メ	吉	ノ	子	枝	子		殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿	殿
	殿	殿	殿	殿	殿	殿													

右、お知らせ致します。
なお、既に奉修済みの方も記載しております。

釈尊の生涯

釈尊のためらい

さとりをひらいた釈尊は、言い知れない喜びを心ゆくまで味わわれるとともに、さとりの内容を謙虚に省み、吟味し、「わがさとりし法をこそ尊び、近づいて、それに住すべきである」という確信をもつにいたった。さらに釈尊は、さとりの内容を他の人たちに伝え、法の喜びを万人に味わせたいという危惧の念におそわれた。

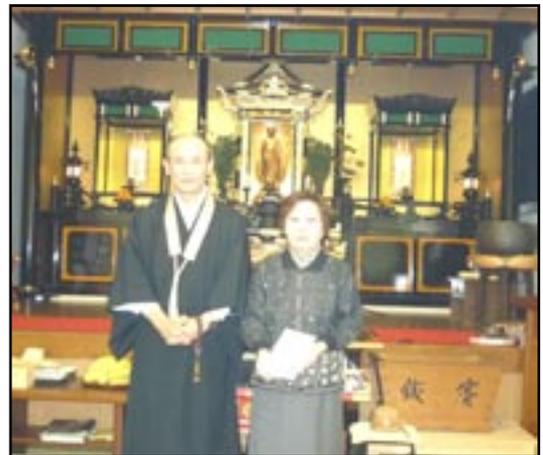
「この法をさとすることは容易ではない。これは世の常の流れにさからい、微妙にして難解なれば、欲のむさぼりにけがれ、闇におおわれしものは、見ることを得ないであろう」との述懐は、このことを物語るものであり、ついに釈尊はさとりの内容を伝えることを断念し、沈黙をまもり続けた。しかし釈尊はさとりの喜

びとその真理を自分がひとりじめすべきではない。かつて自分が苦しみ悩んだように、もろ人は私が持ったと同じ悩み苦しんでいる。私はそれらの人たちの先達として、どうしてもそれらの人たちにさとりの喜びをわかち、その真理を説き示すべきであるという、内なる声なき声に気づき、ついに伝道を決意されるにいたった。世に「梵天の勧請」と呼んでいるのは、この声なき声を指している。



2月15日は涅槃会

院号授与式



坂井 す糸のさん 香薫院

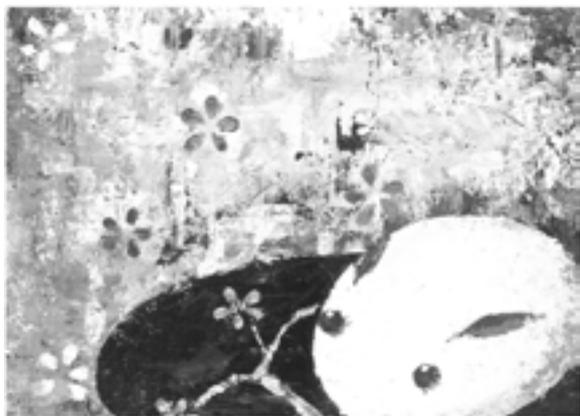
戒名は授かるもの

戒名は仏の弟子となることで授与される名前です。仏の教え、戒めに従うことを約束することで、授けられるものなのです。ですから、生前に五重相伝や授戒会を受けることでいただくものです。

皆さんが戒名と聞いて思い浮かべる名前は、正式には法号と呼ぶ、戒名を含んだ名前のことでしょうか。

○○ ○○信士(信女) という名前の中で戒名といわれるのは信士(信女)の直前の二文字です。それ以外は道号(戒名の前にある名前、位号(一番後ろについている文字(信士、信女、又は善士、善女、居士、大姉))

また、誉号(念仏の篤信者、正式には五重相伝の受者)や院号といって、本来、堂宇を寄進するなど物心両面にわたって菩提寺に貢献した、信心深い人に授与される称号などがあります。



法然上人 御詠歌

雪のうちに
佛の御名を
唱ふれば
つもれるつみぞ
やがてきえぬる

佛教

何もかんも

正覚寺住職 行正明弘

佛教のこと、佛事のこと、みなさまからの
ご質問にお答えします。

「母の遺品」

Q 先ごろ信心深い母が他界しました。母は寺巡りが好きで、各宗の有名・無名の寺院を参拝しておりました。遺品の中には、数珠や袈裟をはじめ参拝用グッズがたくさんあります。それらの処分の方法をお尋ねします。また、私も母の意志を継いで寺巡拝をしたいと思っています。その場合母の遺品を使ってよいものでしょうか。なお巡拝や集印帳にはどんな意味があるのですか。

A 信仰心の篤い母子に心あたたまるものがあります。寺詣りを思い立たれたことはとても素晴らしいことで

す。佛法に近づき、人柄を深め、人格を高め、己を磨き、あたたかな人情を育ててください。

お尋ねの件ですが、親の遺品は基本的に使用できるものは使用してかまいません。佛像や佛画、守り札や塔婆などは個人では処分しにくいものです。寺に相談してください。浄梵式（おたきあげ）をしてくれます。あとのものは廃品に出して結構です。

念珠は個人のもという考え方もありますが、私は父の念珠を遺具として大切に使用させていただきます。

袈裟は、お母さんがどこかの寺で受けた、帰敬式や授戒会または五重相伝会の授与品であれば有資格者のものとして、他の人が使用しにくいかも知れませんが、袈裟は本来佛教信者となった人へ儀式をとおして、師または寺から授けられるものだからです。

集印帳は、霊場を参拝（観光）のしるしとして、宝印や社印を押したものです。その印影を集めた帳面のことです。

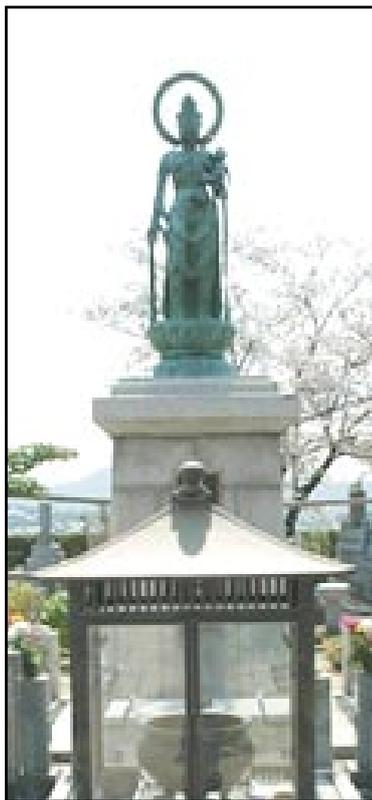
それには朱色の印が押されますので朱印帳とも呼ばれます。（江戸時代武将が公文書に押した朱印の証書とは別）。

霊場でなくとも行つた先々の寺社の印をいただくこともあります。つまり記念のためであり、信仰のメモリアルです。巡礼や遍路は、祈願・心願を立てて、その成就を念じて巡拝されます。また追善供養やお礼参りのために参拝されることもあります。いずれにしても佛の教えを体で受けとめ、体験をとおして佛法に触れることはとても大切なことです。

おめぐりには観音霊場や、西国三十三所、また四国八十八箇所巡りなどたくさんあります。浄土宗には宗祖法然上人廿五霊場がありますので是非ともご参詣ください。是非ともご参詣ください。

腰掛けし石を拝んで遍路参つ
杉女房遍路相手の小商ひ
遍路宿塩手馴れのうどん打つ





14 日会 (念仏と写経の会)

- 1、日 時 毎月第 3 土曜日但し、8 月はお休み
午後 3 時より勤行とお念仏
(日常勤行式 浄土宗のお勤め)
引き続き 写経会

※お勤めだけ、または写経会のみのご参加も歓迎します。

- 2、場 所 無量寺 2 階 本堂にて

- 3、参加費 無 料

写経用紙 (和紙) は準備しております。(実費をお願いします。)

用具は各自お好みのもの

(筆、すずり、墨汁、サインペン等) をご持参ください。

筆ペンを多少準備しております。

納経をされる方は 納経料 1 巻 1,000 円をご志納下さい。

(納経料は積み立てて、観音様建立の資金といたします。)

無量寺の聖観世音菩薩は筑後 33 ヶ所観音霊場 18 番札所です。

かぞくておいしい! かくな流 精進料理



【 作 り 方 】

- 1 豆腐はよく水切りして裏ごしし、かぶらは皮をむいてすりおろし、ザルで軽く水を切る。
- 2 (1) の豆腐とかぶらに少量の塩を加えてまぜ合わせる。
- 3 器にラップを敷いて (2) を取り分け、石づきを取ってほぐしたしめじ、ゆり根、皮をむいたぎんなんを添え、茶巾絞りにして蒸し器で 10 分ほど蒸す。
- 4 出汁に塩、みりんを入れ、細かく切ったちんげん菜を散らしてひと煮立ちさせ、少量の水でといた片栗粉を加えてトロミをつける。
- 5 蒸し上がった (3) のラップを取り、(4) をかけ、わさびをのせて出来上がり。

～豆腐かぶら蒸し～

浄土宗～かるな～より

<材料>

- 豆腐・・・半丁
しめじ・・・半パック
かぶら・・・100g
ぎんなん・・・12 個
ゆり根・・・1 株
ちんげん菜・・・2 枚
(かけ汁)
昆布出汁・・・200cc
塩・・・少々
片栗粉・・・小さじ 2
みりん・・・大さじ 1

食作法 じきさほう

食事は私たちが生きてゆくために不可欠なもの。仏教では、私たちの生は多くの人や物の恩恵によって保たれている「縁起」の法を説きます。

食事はまさに、この恩恵が集約されたものです。これに感謝を示し、それに報いるような日々をおくりたい。その意味で食事のときにおとなえたいのが、「食前のことば」と「食後のことば」です。

食前のことば

ほんとうに生きんがために、今、この食をいただきます。あたえられたる天地の恵みを、感謝いたします。
十念 いただきます。

食後のことば

われ食を終わりとて、心豊かに力身に満つ。
おのがつとめにいそしみ、誓って、御恩にむくいたてまつらん。
十念 ごちそうさま。

法然上人 800 年大遠忌記念事業



山門横駐車場土地購入と整備



香林閣トイレ改修



南側駐車場整備

総本山知恩院および大本山善導寺
大遠忌への寄進

永代供養墓（合掌の塔）

この供養塔には、お墓や納骨堂を祀っていくお子さんや跡継ぎのおられない方、ご夫婦などが入っておられます。個人単 位で骨壺のまま納骨いたします。

ご主人が亡くなられて、奥さんがご主人のとなりに申し込まれているところも多くあります。

早期に申し込まれていても、事情が変わった場合など解約することもできます。（ただし、納骨後は解約できません。）



メールアドレス登録 QR コード（携帯電話等で読み取って下さい）

<http://muryoji.net/touroku>

メールアドレスを登録していただくと、「回向が無事終わりました」などのお知らせをいたします。